Sportsナガサキ

輝け君の汗と涙
北信越総体2021

全国高校総合体育大会（インターハイ＝北信越総体）は7月31日、各地で6競技が行われ、県勢はソフトボール女子の長崎商が準々決勝で春の全国選抜大会王者の佐賀女に6－4で競り勝ち、初優勝（4校同時）を飾った。ソフトボール女子は競技第1日が雨天で日程が変更され、準決勝、決勝の中止が決まっていた。

弓道団体の決勝トーナメントに臨んだ男子の長崎南山、女子の対馬は、そろって初戦を突破したが、2回戦で敗れて8強入りを逃した。

8月1日は各地で陸上、弓道、少林寺拳法の3競技を実施する。（則行優志）

（成績は団体決勝と県勢）

ソフトボール

【女子】
▽3回戦
長崎商 1 1 1 0 0 0 2 5
常磐大高（茨城） 0 0 1 0 0 0 0 1
（長）川瀬、後田－松尾
（常）佐々木、占岡
▽本塁打 後田、黒川（長）
▽準々決勝
長崎商 1 1 0 0 0 4 0 6
佐賀女（長）川瀬－松尾
（佐）辻、冨岡－椎場
（準決勝、決勝が行われないため準々決勝の勝者が優勝）
（長崎商は初優勝）
千葉経大付 5－0 聖霊（愛知）
（千葉経大付は5年ぶり2度目の優勝）
多治見西 2－0 創志学園（岡山）
（岐阜）
（多治見西は初優勝）
山梨学院 3－1 鳥取城北
（山梨学院は初優勝）

長崎商初V

4校同時、県勢金メダル第1号

春の王者に雪辱

【ソフトボール女子準々決勝、長崎商－佐賀女】最後の打者を打ち取り、喜びを爆発させる長崎商の選手たち　＝福井県敦賀市、きらめきスタジアム

春に続く全国4強入り。しかも、今回は優勝のおまけがついてきた。ソフトボール女子の長崎商が、3回戦、準々決勝を立て続けに制して「4校同時優勝」を達成した。「最高の気分。勝ちたい気持ちを強く持ってくれたからこそ苦しい試合をものにできた」と溝口監督。今大会の県勢金メダル第1号となった。

準々決勝で戦った佐賀女は、3月の全国選抜大会を全試合無失点で制した王者。長崎商も準決勝で敗れた相手で、今季は練習試合も含めて一度も勝っていない強敵だった。加えて、主将の小島が3回戦後に熱中症となり、佐賀女戦はベンチ入りが難しい状況に。チームは満身創痍に近い状態だったが、エース川瀬は「これでチームの団結がさらに強くなった」。

序盤の集中打で二回までに2点を先攻。佐賀女も譲らず五回に2－3と逆転を許したが、ここから今大会の長崎商の強さが出た。直後の六回に4安打と犠飛で4点を加えて再逆転すると、最後はエース川瀬がピンチを切り抜けてゲームセット。歓喜の瞬間を迎えた。

ビクトリー

大会が始まる前日、野球部の甲子園出場が決定。既に現地入りしていた選手たちはライブ配信で同級生らの奮闘を見届け「次は私たちの番」と一段と気合が入ったという。溝口監督は「部活生で学校全体のムードが良くなり、それがまた自分たちの力になる好循環」と相乗効果を口にした。

「4校同時優勝」という幕切れとなり、日本一を勝ち取った実感は薄い。だが、春夏どちらも4強入りしたチームは唯一、長崎商のみ。紛れもなく「今年のベストチームだった」と胸を張れるのではないだろうか。（中島宙）

エース川瀬　全4試合登板　力投409球

【ソフトボール女子準々決勝、長崎商－佐賀女】全試合に登板して優勝の原動力となった長崎商のエース川瀬＝福井県敦賀市、きらめきスタジアム

バックの守備信じ全力

○…エース川瀬が今大会3日間の全4試合に登板。金メダル獲得の原動力となった。総投球数は409で「出し切りました」と充実の笑顔を浮かべた。

1回戦を完封勝利でスタート。2回戦も1人で10回を投げ抜いて零封した。ダブルヘッダーとなった最終日は、まず3回戦を四回途中まで投げて1失点。それから1時間半後に行われた佐賀女との最終戦は、4点を許しながらも完投した。

本来はライズボールや直球を決め球に三振を取るスタイルだが、疲れがたまっていた佐賀女戦はドロップやチェンジアップを織り交ぜた「打たせて取る」ピッチングで勝負。バックの守備を信頼して、全力投球した。「ここを目指してやってきた。仲間に恵まれたからこそ勝てた」と達成感をにじませた。（中島宙）

長崎南山、対馬

健闘〝16強〟

【弓道男子団体2回戦、富士宮西－長崎南山】集中して矢を放つ長崎南山の選手たち　＝新潟県上越市、県立武道館特設弓道場

○…弓道団体の決勝トーナメントに臨んだ男子の長崎南山と女子の対馬。入賞となる8強入りはならなかったが、それぞれ持ち味を発揮して〝全国16強〟という結果を残した。

長崎南山は予選（20射）を15中の好成績で通過。決勝トーナメントは1、2回戦とも10中にとどまったが、試合直前まで声を掛け合って射の姿勢を確認するなど、普段通りを貫いた。主将の栗尾は「本数に固執せず、それぞれがどんな射を目指すかに焦点を当ててきた。それは全国でもやりきれたし、楽しかった」と振り返った。

対馬は1回戦を13－8で快勝発進した。2回戦は本来の射を披露できずに敗れたが、林田が皆中、吉村も2中と奮闘するなど、一人一人が積み重ねてきた成果は発揮した。羽田監督は「離島のチームでもやれるんだということを示してくれた」と選手たちの健闘をたたえていた。（則行優志）

弓道

【男子】
▽団体決勝トーナメント1回戦（20射）
長崎南山 10－8 桜丘（愛知）
（長崎南山＝松尾1中、山川2中、友廣1中、栗尾4中、小西2中）（桜丘＝大村3中、本田1中、青木1中、坂口3中、松本0中）
▽同2回戦（20射）
富士宮西 14－10 長崎南山
（静岡）
（富士宮西＝稲葉2中、錦織1中、石塚4中、増田4中、望月3中）（長崎南山＝松尾1中、山川4中、友廣1中、栗尾2中、小西2中）
▽団体決勝トーナメント1回戦（20射）
馬13－8 旭川藤星（北海道）
（対馬＝栗屋2中、阿比留2中、林田4中、梅野2中、陶山3中）（旭川藤星＝上野1中、見角2中、駒沢2中、植田2中、杉本1中）
▽同2回戦（20射）
延岡学園 15－8 対馬
（宮崎）
（延岡学園＝溝口2中、米加田3中、西3中、坂本4中、堀内3中）（対馬＝栗屋1中、阿比留0中、林田4中、吉村2中、陶山1中）

陸上

【男子】
▽200メ予選
「9組」⑤馬場隆旗（島原）21秒71＝追い風参考、落選
▽1600メリレー予選
「7組」⑦諫早農（塚田、鉢峯、池田、小川）3分22秒71＝落選
「9組」⑤長崎南山（森、畑本、畑口、平山）3分19秒53＝落選
【女子】
▽3000メ予選
「1組」㉑水谷陽菜（諫早）10分8秒11＝落選
▽走り高跳び予選
「2組」岩崎萌（佐世保西）＝記録なし、落選
▽やり投げ予選
「2組」⑨勝見風李（対馬）41メ96＝落選
㉘宮野瑠華（長崎女）35メ77＝落選

ソフトテニス

【男子】
▽個人4回戦
杉山 4－2 立野
松本（愛知・愛知産大三河）
岩屋（精道三川台）

少林寺拳法

▽男子組演武予選
「B組」⑫佐世保工（浦、上肥）493・0点＝落選

バレー

▽女子決勝
下北沢成徳（東京）3（25 25 25 19）1 就実（岡山）（21 16 25 25）
（下北沢成徳は3年ぶり4度目の優勝）

【バレーボール男子決勝リーグ、吾妻－郡】優勝を決めて喜ぶ郡の選手たち　＝長崎市、県立総合体育館